製品名　　ヘキサナール
製品コード　0003545

株式会社井上香料製造所
改訂日　：　2026年6月1日
確認日　：　2026年6月1日
作成日　：　2010年8月6日

安 全 デ ー タ シ ー ト

1．化学品及び会社情報

化学品の名称（製品名）	**ヘキサナール**
製品コード	0003545
供給者の会社名称	株式会社井上香料製造所
住　所	東京都世田谷区奥沢1-36-11
担当部門	品質保証部
電話番号	03-3726-1861(窓口)
推奨用途	食品用香料
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2．危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】

引火性液体	：区分3	
急性毒性(経口)	：区分に該当しない	
急性毒性(経皮)	：分類できない	
急性毒性(吸入)	：分類できない	
皮膚腐食性／刺激性	：区分2	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：区分2A	
呼吸器感作性	：分類できない	
皮膚感作性	：分類できない	
生殖細胞変異原性	：分類できない	
発がん性	：分類できない	
生殖毒性	：分類できない	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：区分3	(気道刺激性)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：分類できない	
誤えん有害性	：分類できない	
水生環境有害性短期(急性)	：区分3	
水生環境有害性長期(慢性)	：区分3	

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル、注意喚起語



警告

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気
皮膚刺激
強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に有害
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

[安全対策(予防策)]

火気厳禁。電気機器類、静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。
保護手袋、保護眼鏡等を着用すること。
換気の良い場所で使用し、揮発成分の蒸気・粉じんの吸入を極力避けること。
取扱い後は充分に手洗いをすること。

[応急措置(対応)]

皮膚や衣服に付着した場合:多量の水と石けんで洗うこと。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。
多量に吸入し気分が悪くなった場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
症状に応じて医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断・手当てを受けること。
眼や皮膚の刺激又は発しんが生じた場合や吸入し気分が悪い場合は、医師の診断・手当てを受けること。
漏出物を回収し、環境への放出を避けること。

[保管(貯蔵)]

換気のある冷暗所(又は指定の場所)に密閉して適切に保管すること。

[廃棄]

残余内容物・容器等は産業廃棄物として適正に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
一般名又は化学名	ヘキサナール
含有量	97 %以上
示性式	C6H12O
官報公示整理番号	化審法 NO. 2-494
輸出(入)統計品目	2912.19
CAS RN®	66-25-1
EINECS NO.	200-624-5
TSCA	登録
FEMA NO.	2557
CoE NO.	96
FDA NO.	172.515

4. 応急措置

吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、頭を低くして横向きに寝かせ、身体の保温に努める。
被災者が意識を失っている場合には、口中の異物を取り除く。
被災者の呼吸が止まった場合は、速やかに人工呼吸を行なう。
応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 石けんで充分洗浄後、清浄な水で洗い流す。
必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診断を受ける。

コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。
無理に吐かせてはいけない。
被災者に意識が無い場合には、口から何を与えてもいけないし、吐かせようとしてもいけない。
応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 火気に注意する。呼吸器用保護具を使用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥砂、粉末消火剤、二酸化炭素、泡沫消火剤等。

使ってはならない消火剤 : 棒状注水。

特有の消火方法 : 消火剤を火元へ放射、散布等をして消火する。
消火作業は可能な限り風上から行う。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。
火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火作業では、状況に応じて適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際、吸入や皮膚に触れない様、適切な保護具を着用し、換気を良くして処理する。

環境に対する注意事項 : 飛散した化学品が風雨等で河川等に排出され、環境に影響を起こさないように留意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 飛散したものは静かに掃き集めるなど回収し、紙袋又はドラム等に入れた後、安全な場所に保管し廃棄処理する。

二次災害の防止策 : 付近にある着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うこと。

安全取扱い注意事項 : 火気厳禁。電気機器類、静電気、スパーク等による着火源を生じないようにする。
ばく露防止の為、適切な保護具を着用して作業を行う。
蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。
取扱い後は充分に手洗いをする。

接触回避 : データなし

保管

安全な保管条件 : 適切な換気のある乾燥した冷暗所（又は指定の場所）に密閉して保管する。
消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等の法令の定めるところに従う。

安全な容器包装材料 : データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等 :

製品名　ヘキサナール　　株式会社井上香料製造所
製品コード　0003545　　改訂日　:　2026年6月1日
　　確認日　:　2026年6月1日

成分名	管理濃度	濃度基準値		許容濃度		
		8時間	短時間	日本産業衛生学会[1)]	ACGIH (TWA)[2)]	ACGIH (STEL)[2)]
ヘキサナール	–	–	–	–	–	–

設備対策　：取扱いの際は、密閉された装置又は局所排気装置を使用する。
保護具
　呼吸用保護具　：保護マスク
　手の保護具　：保護手袋
　眼、顔面の保護具　：保護眼鏡
　皮膚及び身体の保護具　：保護服（長袖作業服等）

9. 物理的及び化学的性質

物理状態　：液体
色　：無色～微黄色透明
臭い　：特有の香気を有する
融点／凝固点　：-56　℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲　：　130　℃
可燃性　：データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界　：データなし
引火点　：　26.5　℃(タグ密閉式)
自然発火点　：約220　℃
分解温度　：データなし
pH　：データなし
動粘性率　：データなし
溶解度　：水に4.8g/L (20℃)溶解
　アルコールに可溶
n-オクタノール／水分配係数(log値)　：　1.78
蒸気圧　：11.5 hPa (20℃)
密度及び／又は相対密度　：0.810～0.820　(20℃/20℃)
相対ガス密度　：データなし
粒子特性　：データなし

10.安定性及び反応性

化学的安定性　：通常の条件下では、安定で、自己重合性はない。
反応性　：通常の条件下では、反応性はなし。
危険有害反応可能性　：火気により引火、爆発の危険あり。
避けるべき条件　：特記すべき条件はなし。
混触危険物質　：特記すべきものはなし。
危険有害な分解生成物　：自己分解により有毒ガスを発生することはない。

11.有害性情報

化学品（混合物）及び有害性を有する成分の有害性情報は別表の通り。

12.環境影響情報

水生環境有害性短期(急性)：区分3

水生環境有害性長期(慢性)：区分3
生態毒性　：知見なし。
残留性・分解性　：良分解性
生態蓄積性　：知見なし。
土壌中の移動性　：知見なし。
オゾン層への有害性　：知見なし。

13.廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報　：　産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

14.輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送　消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送　船舶安全法、港則法等に定められている輸送方法に従う。
航空輸送　航空法等に定められている輸送方法に従う。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策
容器を転倒、落下等粗暴な取扱いをしない。
火気厳禁とする。
緊急時応急措置指針　指針番号　130

国際規則

国連番号	1207
国連輸送名	HEXALDEHYDE
国連分類	3(引火性液体類)
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当しない

15.適用法令

労働安全衛生法　：通知すべき危険物および有害物
ヘキサナール
表示すべき危険物および有害物
ヘキサナール
危険物　：　引火性の物
化学物質把握管理促進法　：該当しない
毒物及び劇物取締法　：該当しない
消防法　：第四類　第二石油類　危険等級　Ⅲ
食品衛生法　：食品添加物　香料　(脂肪族高級アルデヒド類)

16.その他の情報

参考文献

1)産業衛生学会誌(2023年度版)
2)Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices (ACGIH) 2024年度版
3)香料のGHS対応の手引き(改訂3版) 日本香料工業会
4)独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)GHS分類結果
5)香料の表示指針(2016年版) 日本香料工業会

製品名　　ヘキサナール
製品コード　0003545

株式会社井上香料製造所
改訂日　：　2026年6月1日
確認日　：　2026年6月1日

6)IFRA-IOFI Labeling Manual 2018
7)弊社社内資料

記載内容の取扱いについて

記載内容は現時点で当社が入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱願います。

添付資料　別表

製品(混合物)及び有害性を有する成分の有害性情報、環境影響情報　3)4)6)

有害性項目	製品(混合物)のGHS分類	有害性を有する成分のGHS分類	
急性毒性(経口)	区分に該当しない		
急性毒性(経皮)	分類できない		
急性毒性(吸入)	分類できない		
皮膚腐食性／刺激性	区分2		
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A		
呼吸器感作性	分類できない		
皮膚感作性	分類できない		
生殖細胞変異原性	分類できない		
発がん性	分類できない		
生殖毒性	分類できない		
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)		
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない		
誤えん有害性	分類できない		
水生環境有害性短期(急性)	区分3		
水生環境有害性長期(慢性)	区分3		